



インターネットでの情報提供	
提供予定日	4月14日

平成22年4月13日(火) 県政記者クラブ、大垣市政・経済記者クラブ 同時配付			
所管課	担当	担当者	電話番号
商工労働部情報産業課	情報産業担当	赤尾、松崎	直通 058-272-8375 内線 3113、3112

「あなたの街にもエアタグが・・・」 県内の全市町村に県公式エアタグを整備完了！ ～ GIFU・iPhone プロジェクト～

県では「GIFU・iPhone プロジェクト」の一環として、県内全域の観光情報などを、携帯端末^{アイフォン} iPhone のアプリケーションソフト「セカイカメラ¹」上で提供するための情報（エアタグ）²として登録する作業を、平成21年5月から進めてきた結果、本年3月末をもって県内全市町村でエアタグの整備が完了しました。

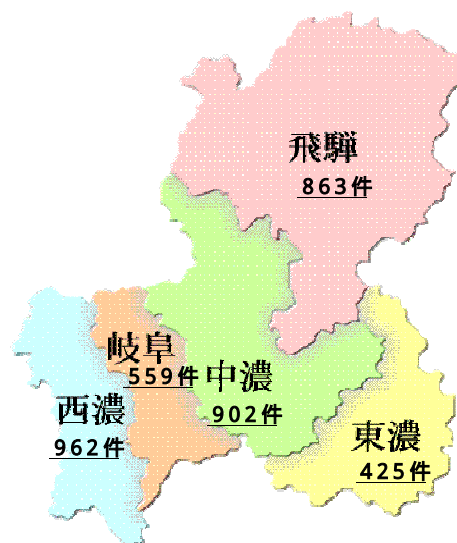
セカイカメラは、昨年12月の世界リリース以降、世界的に注目を集めており、岐阜県以外でも徐々に活用が進んでいますが、全市町村という広域的な単位でのエアタグ整備は、世界的に見ても初めてのことです。

このエアタグを活用したイベント等も各地で行われ始めており、訪れた観光客の方々からは、観光の新たな可能性を指し示す取り組みとして好評を博しています。

1 登録件数の内訳

登録言語	対応地域	件数
日本語	県内全域	3,067
英語	岐阜市、高山市、 郡上市、下呂市	452
中国語	高山市、養老町	96
韓国語	高山市	21
ドイツ語	養老町	75

合計 3,711件



2 エアタグを使ったイベント等の開催実績

- (1) iPhone クイズでおさんぼ（高山市、平成21年10月15日～現在も開催中）
予め設定したコースを「エアタグ」によるクイズを解きながら散策。
- (2) 関ヶ原歴史散策（関ヶ原町、平成22年1月15日～）
「歴史ブーム」のなか「関ヶ原」を訪れる観光客がセカイカメラを利用して史跡を散策できるよう、「陣旗」、「武将肖像画」、「史跡説明」を整備。
- (3) あじな岐阜^{あそぼさい}遊歩祭2010「謎解きクイズラリー」（岐阜市、平成22年3月1日～31日）
地図に隠された謎を解きながら「まち歩き」を楽しむラリーゲーム（「信長の暗号」コース

と「駅前探偵物語」コースの2コースを設定。)を実施。

3 今後の活用予定

(1) 温泉街まちあるき

下呂温泉の「G - ランチ & G - グルメ、G - スイーツ」といったグルメ情報73件の登録作業を開始。「湯巡り」での活用手法について、夏頃までの実施に向け調整中。

(2) A P E C 中小企業大臣会合 (平成22年10月2日~10月3日)

会合参加者の利用を図るため、外国語による「飲食店」、「お土産」情報のエアタグを整備予定。終了後も海外からの旅行客に対しての観光情報提供に活用。

(3) ぎふ清流国体・ぎふ清流大会

本年6月頃をめどに、競技会場となる全ての市町村の庁舎、関連施設及び競技会場に事前PR用として、競技内容、日程等のミナモを活用したエアタグを整備予定。

今後は更に競技ルール、選手紹介、応援メッセージといった情報のエアタグも順次登録予定。

(4) その他

4月26日に、県内市町村等行政職員を対象としたセカイカメラの利活用に関する講習会を開催。県内各地域での主体的な事業展開を図るとともに、協力体制を構築していく予定。

詳細が決定しましたら、改めてお知らせいたします。

4 エアタグについて

(1) エアタグのメリット

- ・登録作業は、パソコンから行うため、低廉で容易に設置が可能。
- ・看板などの工作物と異なり、文化財保護法や景観条例等の制約を受けないため、自由に設置が可能。
- ・日本語に限らず、英語、中国語など多言語のエアタグを同時に設置でき、地域としての旅行者等への「おもてなし(ホスピタリティ)」向上や多文化共生に寄与。

(2) 公式エアタグの充実

現在、iPhoneでのみ利用可能な「セカイカメラ」は、間もなくAndroid³携帯においてもサービスが開始され、携帯キャリアに縛りがなくなることから、セカイカメラ利用者の爆発的な増加が見込まれる。(整備済みのエアタグは各通信キャリア、端末で共有可能)

こうした状況を捉え、これまでの観光情報を中心とした登録情報に加え、「店舗」情報や、さらには「動画」や「音声」情報の収集・登録を進め、公式エアタグのますますの充実を図っていく予定。

(3) 他地域での活用事例

海外での事例

- ・「シテ科学産業博物館」企画展示紹介(フランス・パリ、平成21年10月)

国内での事例

- ・ファッション展示会「rooms」商品紹介(東京代々木、平成21年2月)
- ・レザー製品ブランド「ロエベ」新作展示会(東京表参道、平成21年9月)
- ・「京都国際マンガミュージアム」展示物紹介(京都市、平成21年9月)
- ・「佐賀城下ひなまつり」イベント(佐賀市、平成22年2月)

1 「セカイカメラ」について

セカイカメラとは、現実の背景に情報を重ねて表示する「拡張現実」と呼ばれる技術を用いたスマートフォン用アプリケーション。最高経営責任者の井口尊仁氏いくちたかひととIAMAS赤松正行教授あかまつまさゆきとのコラボレーションを始まりとして2008年8月に誕生し、同年10月にはソフトピアに進出した新進気鋭のベンチャー企業「頓智・(株)」の最初の製品。



スマートフォン内蔵のGPS 機能により位置情報を取得し、カメラを通して見る景色に「エアタグ」と呼ばれる情報を貼り付けたり、他のユーザが貼り付けたエアタグを閲覧することが可能であり、個人利用のみならず、観光看板、道案内看板や店舗紹介など、社会的インフラとしての活用も期待されている。

昨年9月にiPhone用として国内リリースが開始されると4日間で10万ダウンロードを記録し話題となり、12月には全世界に向けてリリースを開始。今後は今年6月発売のau版Android端末「IS01」にも標準搭載予定。

2 「エアタグ」について

「セカイカメラ」を使い、スマートフォンのカメラ越しに見える風景に付与された情報（タグ）のこと。利用者はカメラを通じて対象物を見ると、タグに表示される画像や文字などの情報を空間上に確認できる。

3 「Android」について

Androidプラットフォームは、米グーグル社が無償で提供する携帯端末向けOS（オープンソースオペレーティングシステム）とミドルウェアなどの主要なアプリケーションを統合したパッケージ。このAndroidは自動車や情報家電などの組み込みOSとしても開発されている。